



2010-2011 年度 国際ロータリーのテーマ

GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER 2010-2011

ガバナー月信

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 田嶋好博

8

2010年8月1日発行

G O V E R N O R M E S S A G E

ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2760地区 ガバナー たじま よしひろ 田嶋 好博



今回は7月1日東京で開催されました第1回ガバナー会議について報告いたします。

黒田正宏 R I 理事からクリンギンスミス R I 会長が R I の職業奉仕委員会を廃止したい旨提案があり、黒田 R I 理事らのご努力で理事会の中で残ることになったようですが、黒

田 R I 理事に対して日本と世界の職業奉仕の違いについてレポートを提出するよう求められたと話されました。

次に社会奉仕に関する決議 23-34 も取り上げられ、こちらはエド・フタ R I 事務総長に決議 23-34 の内容が R I のあり方と合うのか合わないのか調査を命じ、事務総長は合う部分もあるし、合わない部分もあるがロータリー章典から削除する必要はない旨の報告を出し、全文残ることになったとのことでした。

Eクラブの話もありました。Eクラブは例会場がホームページの中に入り参加すること以外他のクラブと同じで、会員が出席する例会も毎月1回開催する必要があるとのことでした。ホームページはパスワードを設定するなどセキュリティが保たれるものにする必要があり、一地区に2クラブの設立が認められますが、テリトリーは自由で、会員は地区協議会、地区大会、国際大会などへの出席義務があります。

近藤雅臣 R I 理事からは、ロータリー綱領の見直しの問題提起があり、今年11月26日～27日大阪で開催されるロータリー研究会で「綱領の翻訳問題」を取り上げるので、その資料とするため各クラブに「ロータリー定款の第4条 綱領の翻訳についてのアンケート」を送り、それに対する回答をお願いしたいとの要請がありました。クラブ会長の皆様にはアンケートに対する回答を8月16日までにエクセルでガバナー事務局までお送り頂きますようお願いいたします。近藤 R I 理事のご説明によりますと、現在の分かり難い翻訳文を分かり易い日本語に改めると共にそれをきっかけに会員全員でもう一度ロータリーのあり方を考えたいとお話でした。

また R I 会長エレクトからなぜ日本は会員が減少しているのか、なぜ高齢化しているのか、なぜ女性会員が少ないのかとの質問を受けたとお話しでした。

これからガバナー補佐訪問が始まり、お盆過ぎから私の公式訪問が始まります。皆様にはなにかとご迷惑をお掛けすることと思いますが、よろしく願い申し上げます。



ようこそ”ロータリークラブ”へ

ロータリークラブは、1905年2月23日、アメリカ・シカゴにて一青年弁護士、ポールP・ハリス他3名が「よい社会を作るためには異業種の人が集い、お互いの職業を理解し且つ、親睦と友情を深め、相互に発展し、社会に奉仕することが大切だ」と語り、この理想を広く人々に呼びかけ、ロータリークラブの誕生となりました。

アメリカからさらに多くの国へと国際的広がりを持って発展し、世界中にロータリークラブが創設されました。

ロータリークラブとは、「奉仕の理想を各人の個人生活、職業生活及び社会生活に実践の基盤とすることに同意した事業及び専門職務に携わる人によって出来たクラブ」です。

この奉仕の理想は、ロータリーが世界に張り巡らされることによって、奉仕を志す人を結び付ける糸の役割を果たしています。世界中のどこに住んでいようとも、考えや行動に奉仕の理想が生きています。

100年前、わずか4名にて始まったロータリー運動が現在、120万人余の仲間を全世界に有するまでに発展しました。そして現在、尚大きく発達し続けています。

一人でも多くの仲間へロータリーの理想を共にし、奉仕活動を共にしようと働きかけております。

現在、私たちロータリアンは識字率向上プログラム・世界からポリオ(骨髄性小児麻痺)を撲滅する運動、又、日本のロータリーが力を入れている国際奨学事業が3つあります。ロータリー財団による奨学金・青少年の国際的な学生交換・それに米山奨学金です。

今後は、地元と世界における奉仕活動をメディアと地域社会に広め、さらに国際的な地位を築いてゆかねばなりません。

「新しい仲間づくりこそロータリー活動の第一歩です。
貴方もロータリアンに……………」



2010-2011年度
地区会員増強委員会
委員長 小山 慎介
(名古屋南RC)

拡大月間によせて

今月は拡大・増強月間である。拡大と増強は地区内の増員の両輪である。増強はクラブに課せられているが拡大はガバナーの重要な仕事の一つである。当地区ではクラブ数は飽和状態に見えるが、これまでにない特徴をもったクラブの結成は可能と思われる。拡大は最大の増強である。ガバナーの指示のもとに、地区内のロータリー仲間を増やせるよう努力したい。ご理解とご協力を切にお願いいたします。



2010-2011年度
地区拡大委員会
委員長 杉浦 壽康
(岡崎RC)



INFORMATION

ガバナー活動報告

地区ロータリー財団セミナー

7月5日(月)名古屋東急ホテルにおいて、試験地区に指名されて初めての財団セミナーを第2750地区PDGロータリー財団地域コーディネーター川尻 政輝様を講師にお招きして、全クラブ282名と地区委員会委員長、副委員長参加のもとにセミナーを開催された。

始めにお詫びを申し上げねばなりません、新年度の初めの大切な例会開催日に財団セミナーを開催いたしました事はどんな理由にせよ、怠慢の誹りを免れる事はできません。衷心よりお詫び申し上げます。

本年度のセミナーの特徴は全世界より100地区が選ばれ新プログラムに移行したセミナー開催になりました。主に「毎年あなたも100ドルを」の寄付推進についての必要性、新補助金を使用した総額は17万ドル強におよび当地区始まって大型補助金の活用事例発表など、また、グローバル補助金についてはより専門性の高い人道的プログラムが優先されている事が大きな特徴であるなどを説明があり、すでに職業研修チームアメリカ・ヒューストンへの派遣準備が進められていることなどが各委員長より報告した。



地区ロータリー財団委員会
委員長 深谷 友尋

第21回インターアクトクラブ年次大会

7月19日(月)岡崎信用金庫本店において、岡崎ロータリークラブ・人間環境大学岡崎学園高等学校インターアクトクラブをホストにて、第21回インターアクトクラブ年次大会が開催されました。当日の詳細は後日、ホームページの委員会活動報告の欄で紹介されます。





文庫通信

275号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

◎「ロータリーの歴史をふまえて」	南園義一	2010	2p	(D.2770)
◎「UNDP親善大使として、見たこと、感じたこと」	紺野美沙子	2010	2p	(D.2770)
◎「日本人のこころ」	徳川恒孝	2010	10p	(D.2590)
◎「日本のこれから」	藤原正彦	2010	4p	(D.2590)
◎「世界の水問題」	金杉 誠	2010	6p	(D.2590)
◎「先人に学ぶロータリーの心 日本人の職業倫理」	島田燁子	2010	3p	(D.2530)
◎「先人に学ぶロータリーの心 江戸時代の京都商道～石門心学とロータリー」	木戸邦考	2010	4p	(D.2530)
◎「現代に生かす 戦国武将の知恵」	松平定知	2009	8p	(D.2800)

〔上記申込先：ロータリー文庫（コピー／PDF）〕

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階

TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時／休館＝土・日・祝祭日

ホームページの利用方法をCDにまとめました。ガバナー事務所にありますので、ご利用ください。

2010-2011 年度ガバナー月信 個人配信登録方法

第2760地区ホームページより随時受付中！

〈ホームページアドレス〉 <http://www.rotary2760.org>

- ① 第2760地区ホームページを開き、左メニューのガバナー月信をクリックします。
 - ② メルマガ登録という部分に、自分のメールアドレスを入力後、送信して登録完了です。
- ご登録された方には、月初めに月信のリンクされたメールが送信されます。
ダウンロードの方法はURLをクリックするだけで自動的にPDFデータが入手されます。



前年度登録された方は、再登録の必要はありません